

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	東京大学	整理番号	C02
プログラム名称	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム		
プログラム責任者	宮園 浩平	プログラムコーディネーター	岩坪 威

(評価決定後公表)

(総括評価)

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、分野横断的・統合的な視野と知識を獲得できるカリキュラムが用意されており、充実した内容となっている。全体会議やリトリート、学内外での実習など、様々な試みによってリーダー養成のための学位プログラムが整備されている。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、学外でのインターンシップや産学官民の多様なリーダーの講義が設定され、学生の視野拡大に繋がっていると評価できる。一方で、グローバルリーダーとして身に付けるべき国際性を涵養していくためには、海外への留学やインターンシップの機会の更なる充実が望まれる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、大学院教育に関する検討会議、コーディネーター会議等、全学的な取組の下に必要な体制が構築されている。またネイティブの外国人教員を雇用して英語教育に力を入れていることは評価できる。一方で、「高い国際性」が身に付いたと実感する学生の割合は多くなく、グローバルな環境整備という観点からは改善の余地がある。

優秀な学生の獲得については、日本学術振興会の特別研究員への採用率が高いことから、質の高い学生が選抜されていると評価できる。一方で、外国人や社会人の占める割合が申請時の目標を大幅に下回っており、多様な背景を持つ学生を獲得するためにより一層の努力が必要である。

世界に通用する確かな質保証システムについては、異分野のプログラム担当者を学生の副指導教員として定めることにより、研究科を超えた学際的・融合的研究指導が可能となる体制を組んでいる。また多段階でのチェックを行う質保証システムを構築しており、従来の大学院とは一線を画するものとなっている。一方で、各専攻での学位審査と本プログラムにおける評価との関係性、及び学生の本プログラムによる修得能力を測るための評価項目とその指標については、より明確に提示されることが望まれる。

事業の定着・発展については、学内で9つのリーディングプログラムが実施されているが、全学のプログラムコーディネーター会議が定期的開催され、恒久的な運用を目指した基盤強化が検討されている。本プログラムの後継としての学位プログラム（修士博士一貫）の創設も計画されており、事業の定着・発展が期待される。